

羽咋農林事務所環境行動計画

平成22年 1月 8日

■取組方針

石川県中能登農林総合事務所 羽咋農林事務所は、羽咋郡市地域の農業を支える担い手の育成と、経営改善支援とともに、管内で栽培されている水稲・野菜・果樹・花卉類のほか、豚、乳牛等の畜産に対する管理技術改善支援や安全・安心な農産物づくり、地産地消等への支援を行っている県の出先機関です。

言うまでもなく、農業と自然環境は密接な関係にあります。こうしたことから、環境保全全般について、職員一人ひとりが強い意識を持って取り組むことは大変重要なことであると考えます。また、公的機関として、民間企業や県民に対して率先し、模範となるよう行動する使命を背負っているものと認識しております。

このため、私たちは、当事務所の活動に伴う環境負荷への影響を少なくするため、以下の行動に取り組みます。

1. 省エネルギー化を進め、二酸化炭素の排出量を抑制します。
2. 廃棄物の削減とリサイクルを進めます。
3. 資源（用紙）の有効な利用を図り紙の使用料を節減します。

この方針に基づいて、職員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全職員に周知します。

平成22年 1月 8日

石川県中能登農林総合事務所

羽 咋 農 林 事 務 所

所 長 中 島 勇

3 環境負荷低減の取組

当事業所は、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標—1	二酸化炭素の排出量を、平成 20 年度 (71,294kg-CO ₂) を基準として平成 24 年度までに約 5%削減し、67,729kg-CO ₂ 以下に削減する。
具体的な取組	(事務所での取組) ① 冷房温度 (28 度) と暖房温度 (19 度) を厳守する ② 冷暖房の運転期間、運転時間を徹底する ③ 昼休みの消灯、コピー機の電源 OFF を徹底する ④ 人のいないエリアの消灯を徹底する ⑤ 不要な待機電源や使用していない機器類の電源の切断 ⑥ ノー残業デー及び定時退庁の徹底 (公用車使用に関する取組) ① 急発進、急加速を行わないなど、経済的な運転の実施 ② タイヤの空気圧等車両の定期点検を行う ③ 効率的な公用車の使用に努め、乗り合わせを徹底する

目標—2	「焼却又は埋め立て廃棄物」の排出量を把握しつつ漸減に努めていく
具体的な取組	① 現時点から廃棄物排出量を正確に計測・記録する ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する ③ 使用済みインクカートリッジはリサイクル業者に回収してもらう ④ 詰め替え可能な製品を優先的に購入する ⑤ 封筒、ファイル、フォルダーは繰り返し使用する

目標—3	コピー用紙の使用量を、平成 18~20 年度の 3 年平均 (417kg) を基準として平成 24 年度までに 400kg 以下に削減する。
具体的な取組	① 作成した資料やメール等で收受した資料はパソコン画面上での確認を徹底する ② 書類・資料の電子データ化を進め、メールでのやり取りを徹底する ③ 両面コピーを徹底する ④ 片面使用済み用紙の裏面利用を徹底する ⑤ 会議資料の部数は必要最小限にする